2016年度上期 決算説明会

2016年12月2日

あすか製薬株式会社

2016年度上期
連結決算概要

あすか製薬株式会社
専務取締役　丸尾　篤嗣

損益計算書(連結)

単位:百万円	2015年度 上期	2016年度 上期	増減額	増減率
売上高	21,107	24,316	3,209	15.2%
売上原価	12,729	15,027	2,298	18.1%
売上総利益	8,377	9,288	910	10.9%
販売費及び一般管理費	7,812	7,956	143	1.8%
営業利益	565	1,332	767	135.6%
経常利益	688	1,455	767	111.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	395	1,275	879	222.2%

事業別売上高（連結）

単位：百万円	2015年度 上期	2016年度 上期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	18,924	22,020	90.6%	3,096	16.4%
動物用医薬品	2,019	2,168	8.9%	148	7.4%
その他	163	126	0.5%	△36	△22.2%
合計	21,107	24,316	100.0%	3,209	15.2%

主要製品売上高

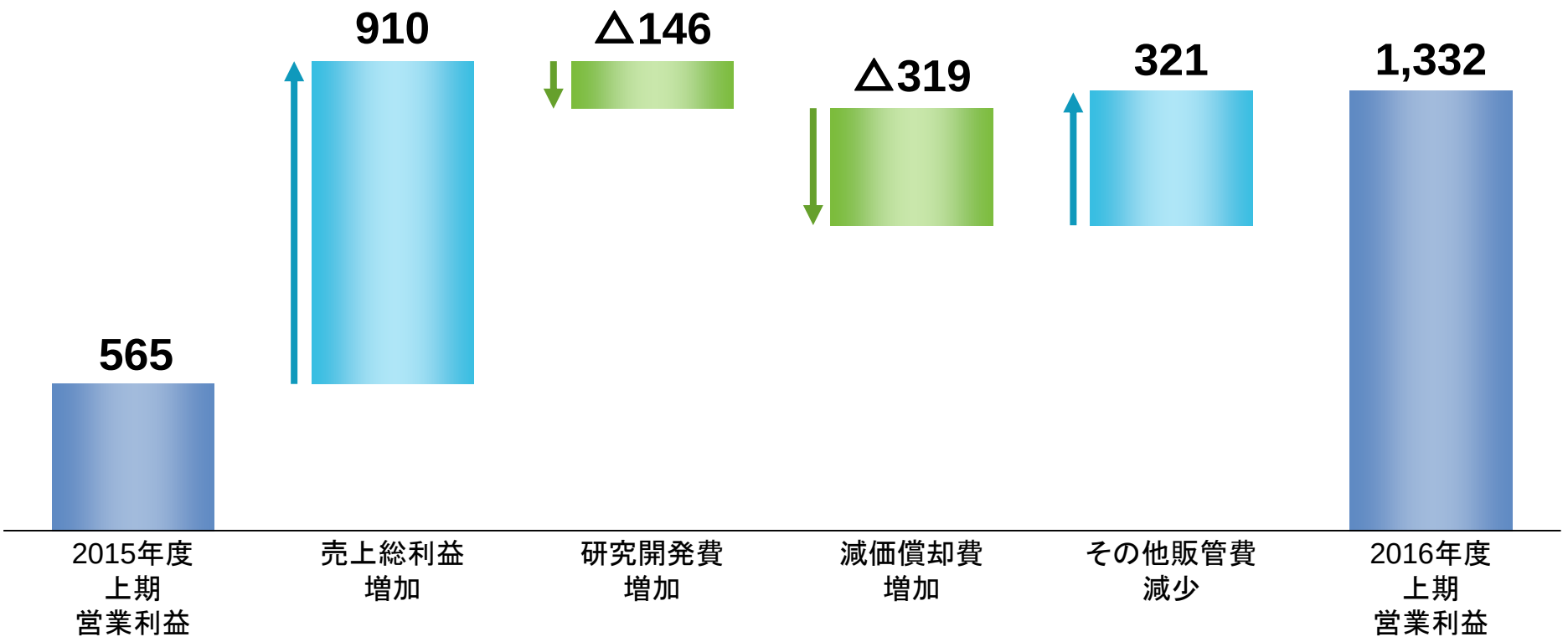
単位：百万円

領域	製品		2015年度上期	2016年度上期		2016年度	
			実績	実績	前同比（%）	計画	前同比（%）
内科	※1、※2	カンデサルタン類	4,070	6,325	155.4%	12,628	138.6%
		チラーヂン	2,504	2,807	112.1%	5,463	114.3%
		メルカゾール	―	589	―	1,151	232.5%
		リピディル	2,241	2,209	98.6%	4,392	98.6%
	※1	アムロジピン	911	860	94.4%	1,674	93.2%
	※1	ラベプラゾール	501	498	99.4%	976	94.3%
		アルタット	392	279	71.2%	557	75.9%
産婦人科		ノルレボ	496	586	118.1%	1,137	125.4%
		アンジュ	500	478	95.6%	939	97.5%
		ルテウム膣用坐剤	―	126	―	260	―
		メノエイド	301	336	111.6%	652	109.6%
泌尿器科	※1、※3	リュープロレリン	1,160	1,905	164.2%	3,776	138.8%
	※1	ビカルタミド	964	941	97.6%	1,817	101.1%
	※1	リストリーム	333	333	100.0%	648	92.8%
		プロスタール	537	318	59.2%	821	55.0%

※1 ジェネリック医薬品
※2 配合剤を含む
※3 1.88mg製剤は産婦人科適応のみだが、3.75mgと合算

営業利益増減分析（対前同）

単位：百万円



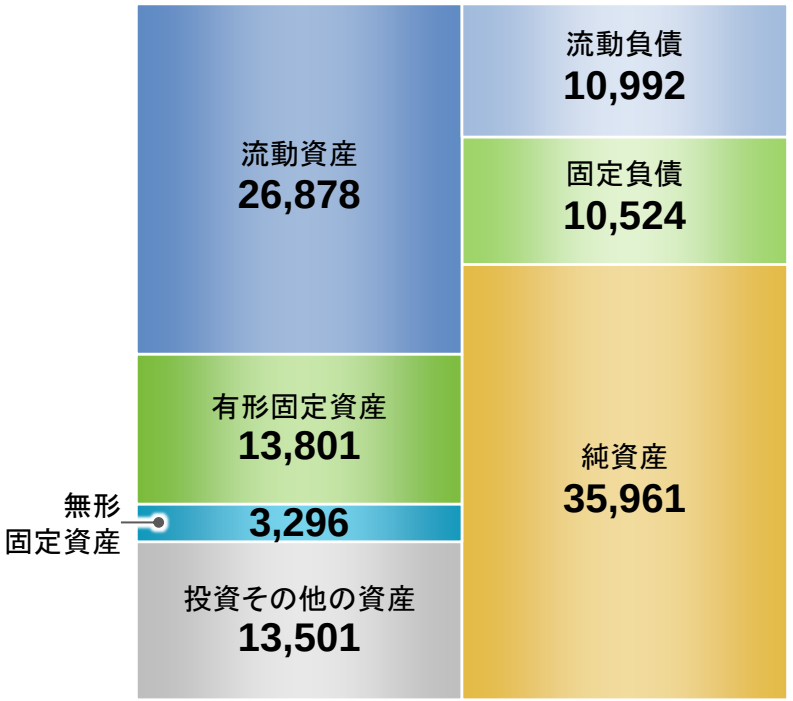
要因分析

- 売上高の増加に伴い、売上総利益は大幅に増加
- 研究開発費および減価償却費は増加したものの、その他販管費の削減によりカバー

貸借対照表（連結）

2015年度末

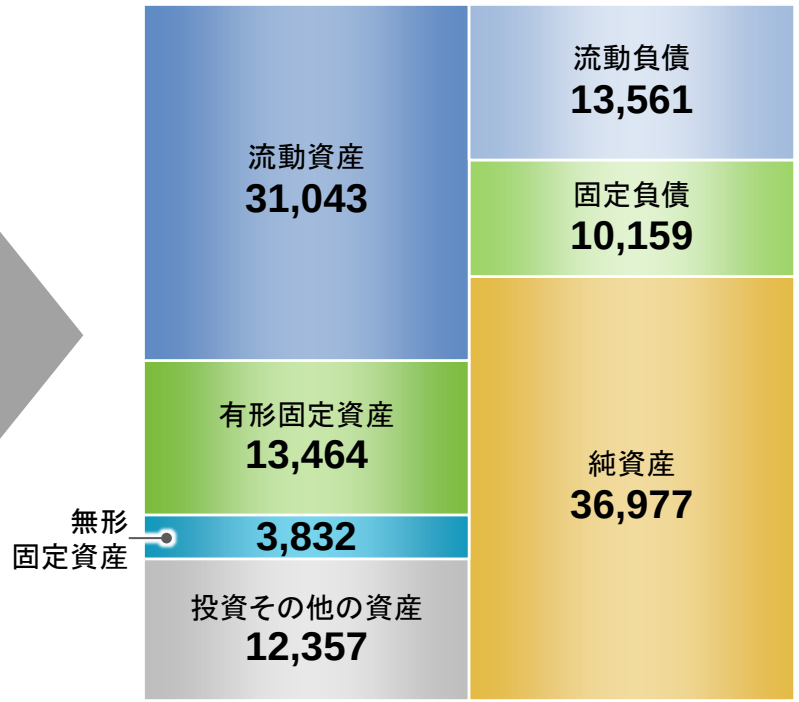
単位：百万円



総資産　57,478百万円

2016年度 上期末

単位：百万円



総資産　60,698百万円

	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産	流動負債	固定負債	純資産
増減額	3,219	4,164	△337	535	△1,143	2,568	△364	1,016

2016年度予想（連結）

単位：百万円

	2015年度 実績	2016年度 予想 （前回発表）	2016年度 予想 （今回修正）	対前年 増減額	対前年 増減率
売上高	43,215	45,000	48,000	4,785	11.1%
営業利益	1,283	1,000	1,800	517	40.3%
経常利益	1,522	1,200	2,000	478	31.4%
当期純利益	701	1,000	1,700	999	142.5%

上振れ要因

- カンデサルタン類、リュープロレリンなどの伸長により、当初の年度計画を上回る見込み

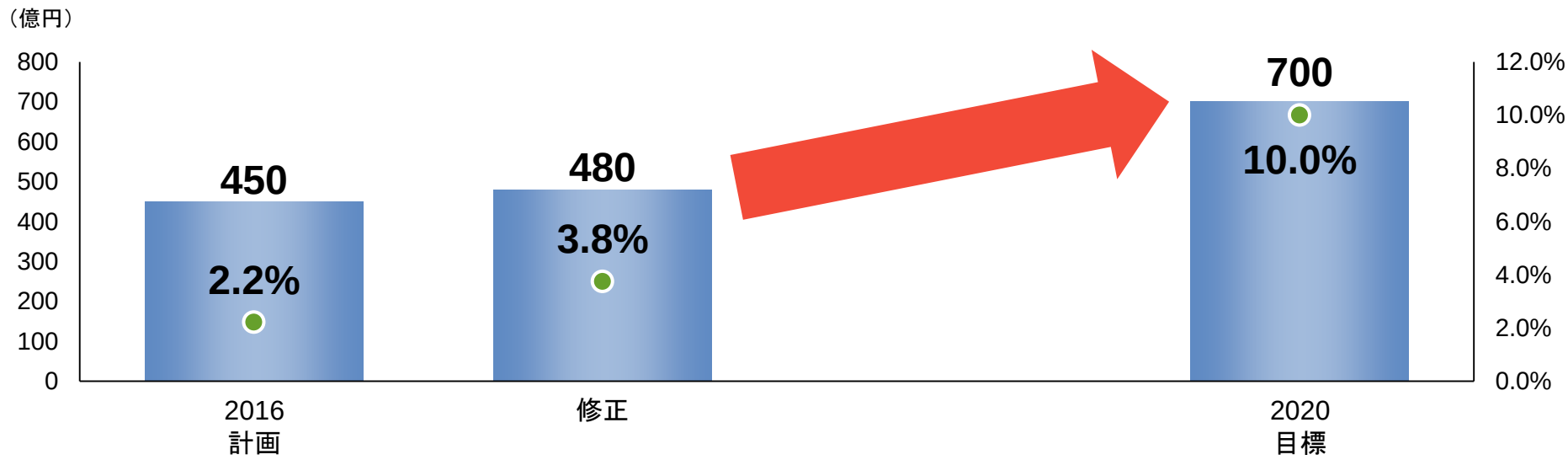
2016年度上期総括・下期の取り組み
～ASKA PLAN 2020の進捗～

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

ASKA PLAN 2020 定量目標

連 結

	2016年度		2020年度
	計画	修正	想定目標
売上高	450億円	480億円	700億円
営業利益率	2.2%	3.8%	10.0%
ROE	2.5%	4.6%	8.0%



ASKA PLAN 2020の目指す姿 ～新薬への取り組み～

ASKA PLAN 2020

位置づけ

- スペシャリティーファーマとしての飛躍
- 持続的成長への足固め

2015 — 2016 — 2020 — 2021-

リフキシマ®錠200mg
ルテウム®膣用坐剤400mg

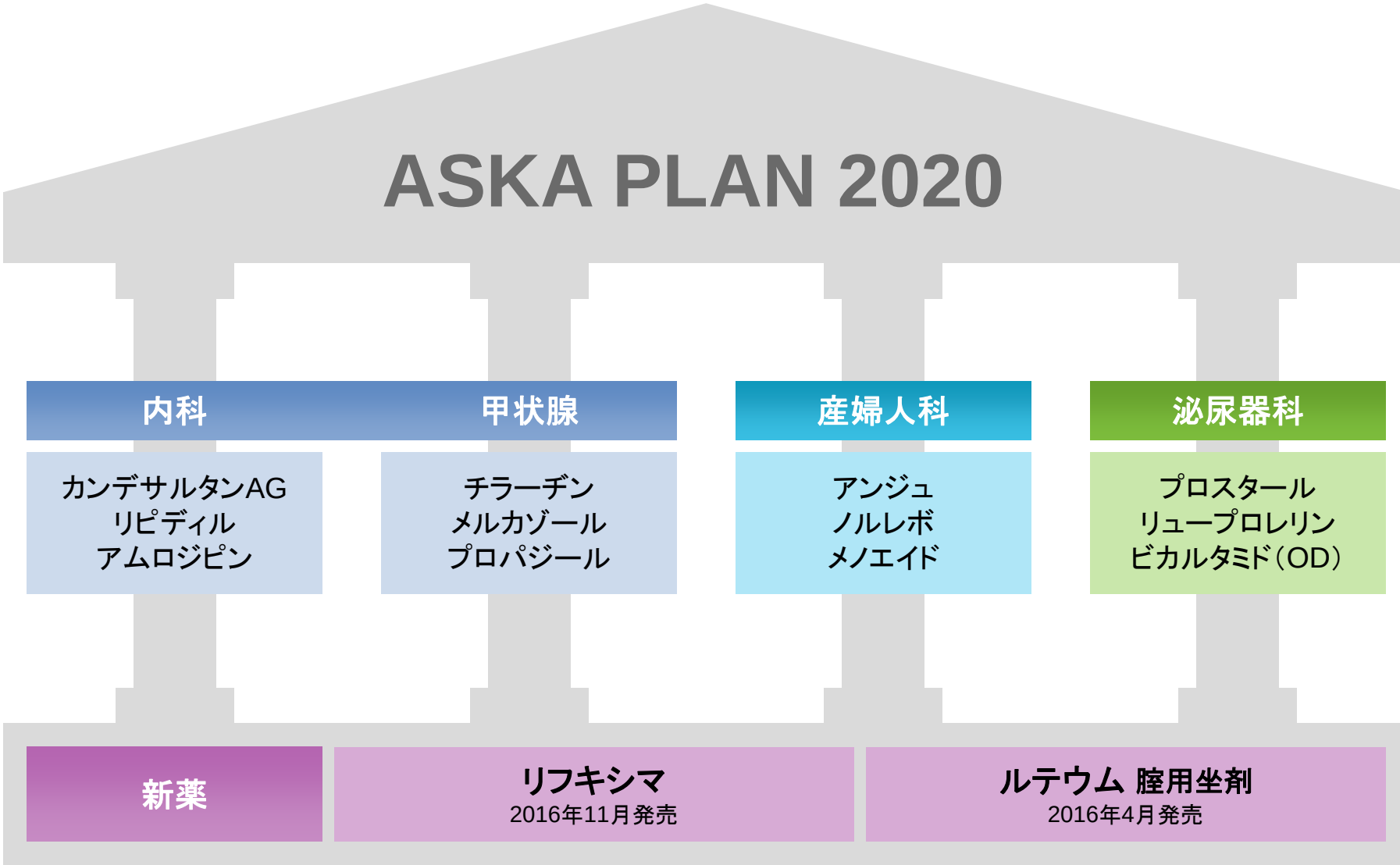


存在感のあるスペシャリティーファーマ

- 信頼を得る
- 成長していく
- 生き残る

ASKA PLAN 2020の目指す姿

重点領域を支える製品ラインナップを拡充



ASKA PLAN 2020の目指す姿

難吸収性抗菌薬 リフキシマ®錠200mg

内科

世界60カ国以上で承認済みであり、本邦では11月29日に販売開始。

一般名	リファキシミン
製剤	

効能又は効果	肝性脳症における高アンモニア血症の改善
用法及び用量	通常、成人にはリファキシミンとして1回400mgを1日3回食後に経口投与する。
薬価	201.90円

ASKA PLAN 2020の目指す姿

リフキシマ 販売戦略 ～啓蒙啓発活動を中心に～

内科

大学・大病院等

地域医療連携

あすか製薬

クリニック等

肝性脳症のKey Drug

1 既存抗菌薬からの切り替え

2 既存治療薬との併用

3 中心的薬剤の位置づけ

適正使用情報の充実



医療関係者用ウェブサイト

一般向け疾患啓発サイト

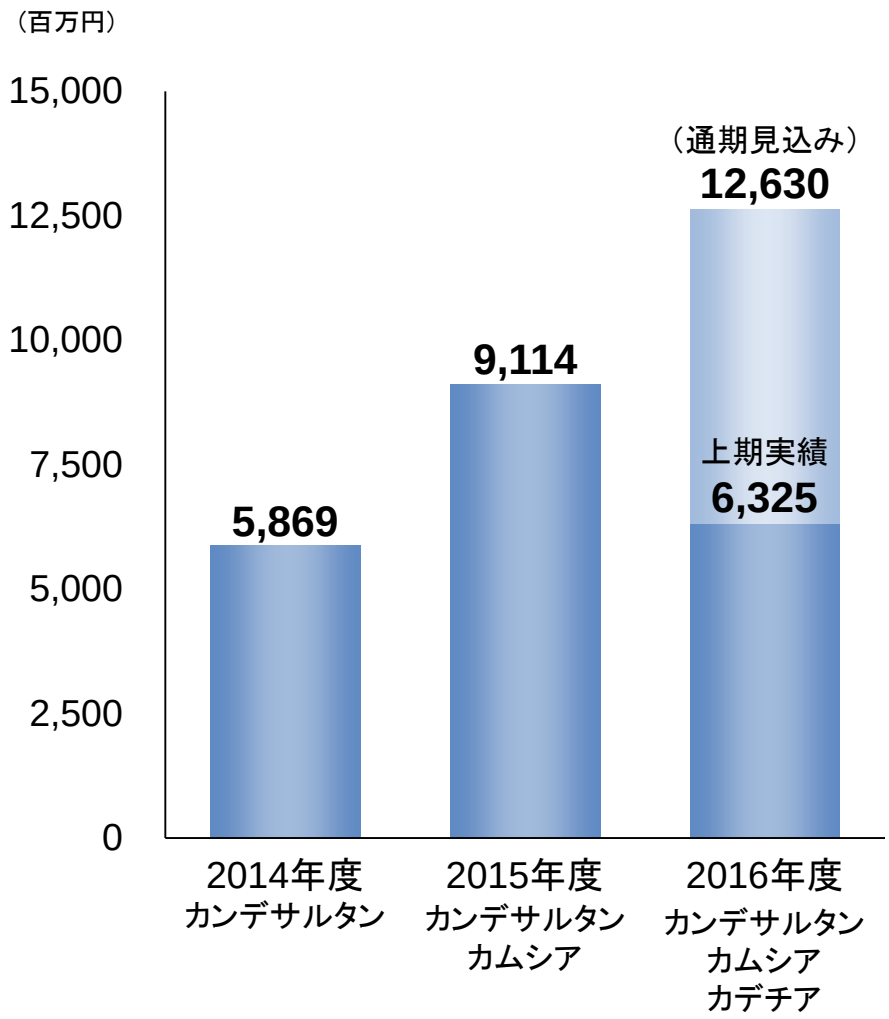
学会共催セミナー等

ASKA PLAN 2020の目指す姿

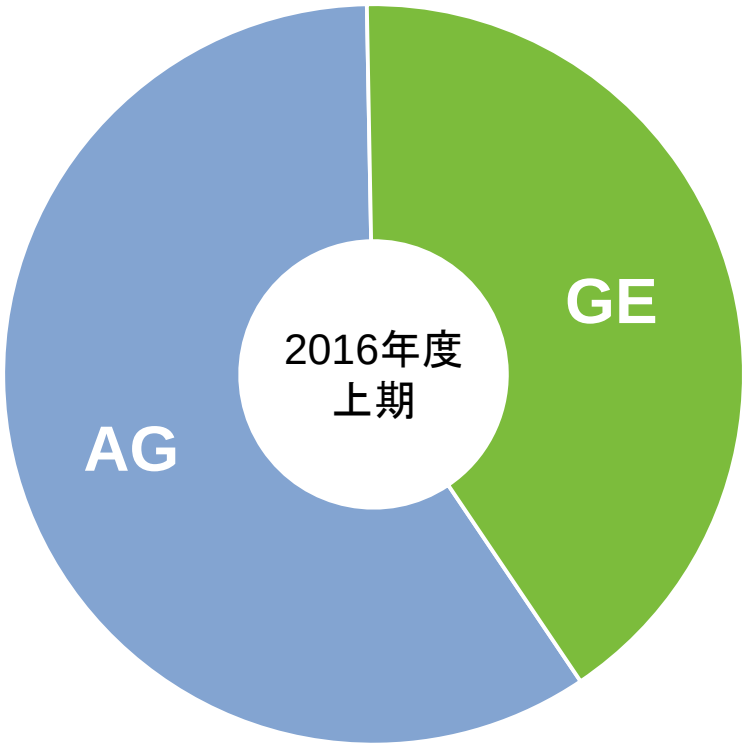
オーソライズド・ジェネリックへの取り組み

内科

カンデサルタン類売上実績



GE内シェア（数量ベース）



ASKA PLAN 2020の目指す姿

甲状腺領域の取り組み

内科

医療ニーズの掘り起し

あすか製薬

疾患啓発





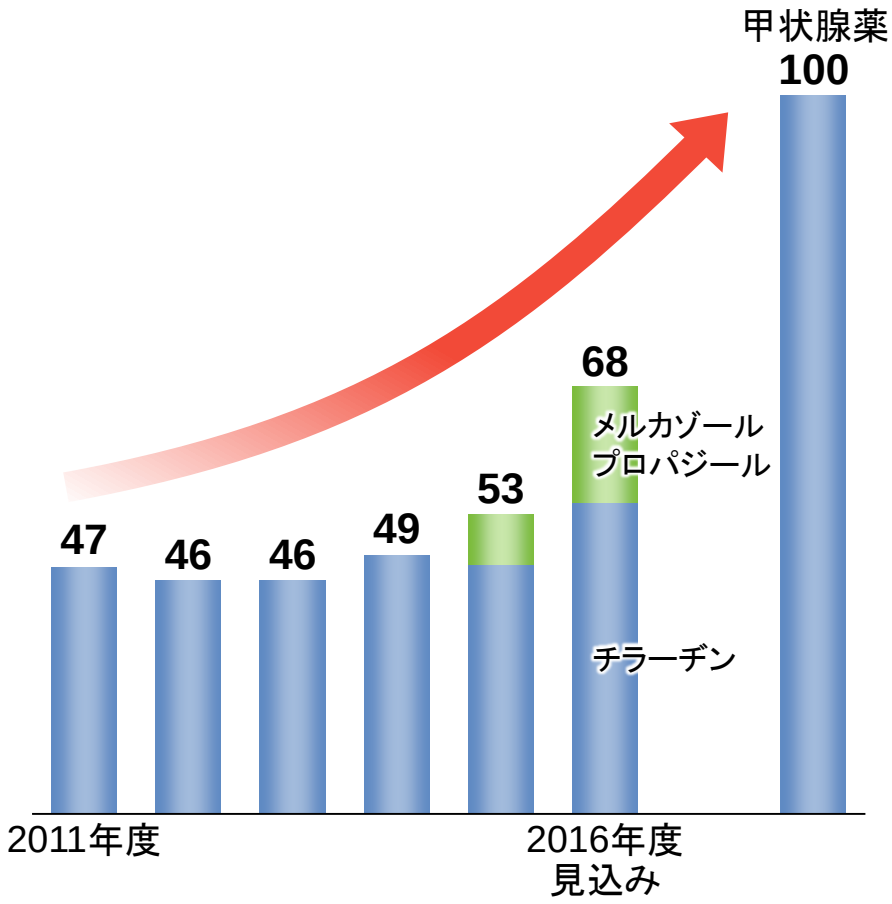




- 市民公開講座
- 世界甲状腺デー共催
- 服薬指導等

患者さん　一般市民

メディカルスタッフ　医師



ASKA PLAN 2020の目指す姿

産婦人科領域の強化

産婦人科

産婦人科領域のリーディングカンパニーを目指す

医療ニーズ対応

研究開発の継続
製品導入・コプロ

周産期

切迫流・早産
ルテオニン

分娩誘発
アトニン-O

生殖内分泌

不妊-排卵誘発剤
HMG注
ゴナピュール
ルテウム腟用坐剤

産婦人科領域 主要製品

婦人科腫瘍

子宮筋腫・内膜症
リュープロレリン

女性ヘルスケア

避妊
アンジュ・ノルレボ

更年期障害
メノエイドコンビパッチ

ユーザー向け啓発活動

疾患啓発Webサイト
病院検索システム



医療関係者向けセミナー

自社主催講演会
学会共催セミナー
疾患啓発活動

ASKA PLAN 2020の目指す姿

産婦人科領域の成長

産婦人科

ユーザーニーズに対応した製品を継続的に投入









単位：億円

100

2011年度　2012年度　2013年度　2014年度　2015年度　2016年度見込み

アンジュ
メノエイドコンビパッチ
HMG注・ゴナピュール
ルテオニン ほか

ノルレボ0.75mg

リュープロレリン

ノルレボ1.5mg

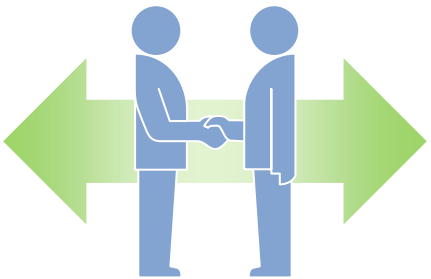
ルテウム膣用坐剤

ASKA PLAN 2020の目指す姿

他社との提携



パートナー





あすか製薬

ASKA PLAN 2020の目指す姿

産婦人科領域における包括的業務提携

Nobel pharma

あすか製薬

NPC-16の開発・製造販売

疾患：月経困難症

有効成分：レボノルゲストレル（LNG）
エチニルエストラジオール（EE）

開発状況：PhⅢ進行中（国内）

※EEを超低用量化しており、血栓症のリスク低減が期待されます

NPC-16の情報提供



ノーベルファーマ株式会社（Nobel pharma Co., Ltd. ）の概要

代表者　代表取締役社長　塩村 仁
設立　2003年6月6日
資本金　1,165万円
社員数　242名（2016年3月1日現在）

開発型製薬企業として、研究成果を待ち望む方々の立場に立ち、オーファンドラッグ（希少疾病用医薬品）、適応外使用医薬品、難治性疾病用医薬品などのアンメットニーズ医薬品を開発。

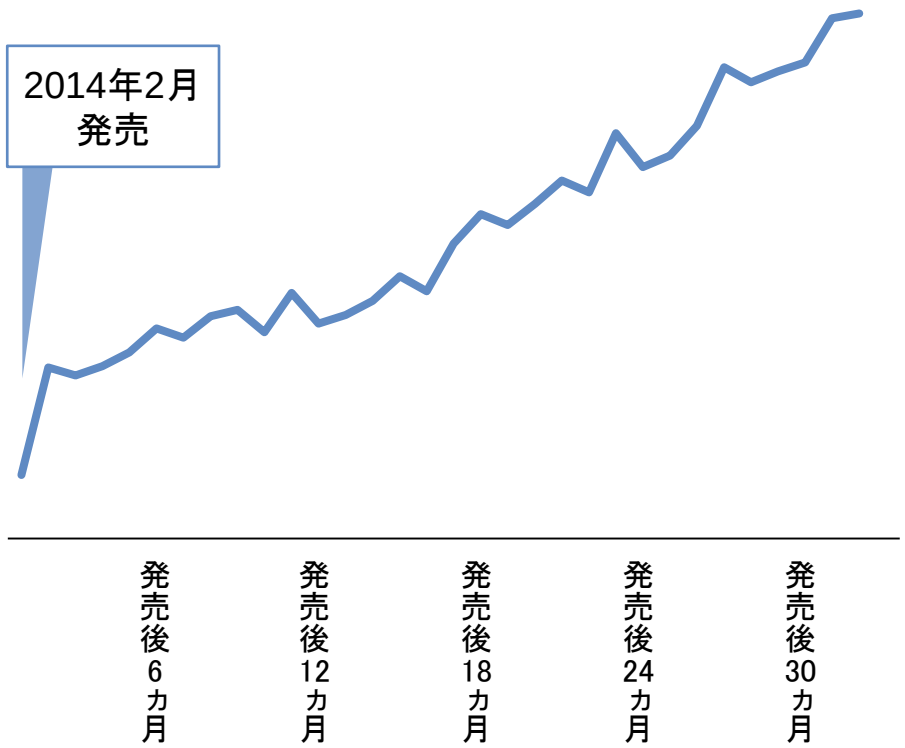
ASKA PLAN 2020の目指す姿

リュープロレリンの取り組み

泌尿器科　産婦人科

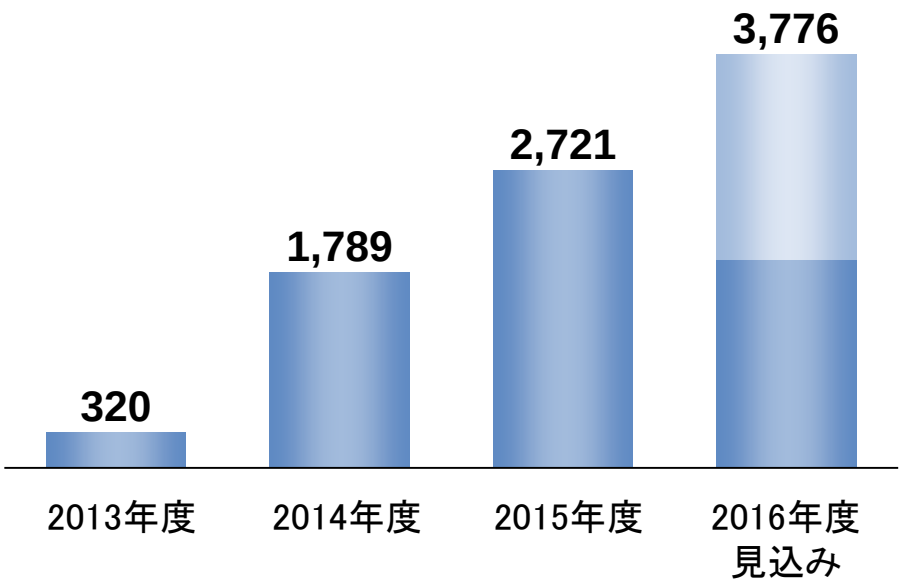
実績推移

処方数量ベース（1.88mg・3.75mg合算）



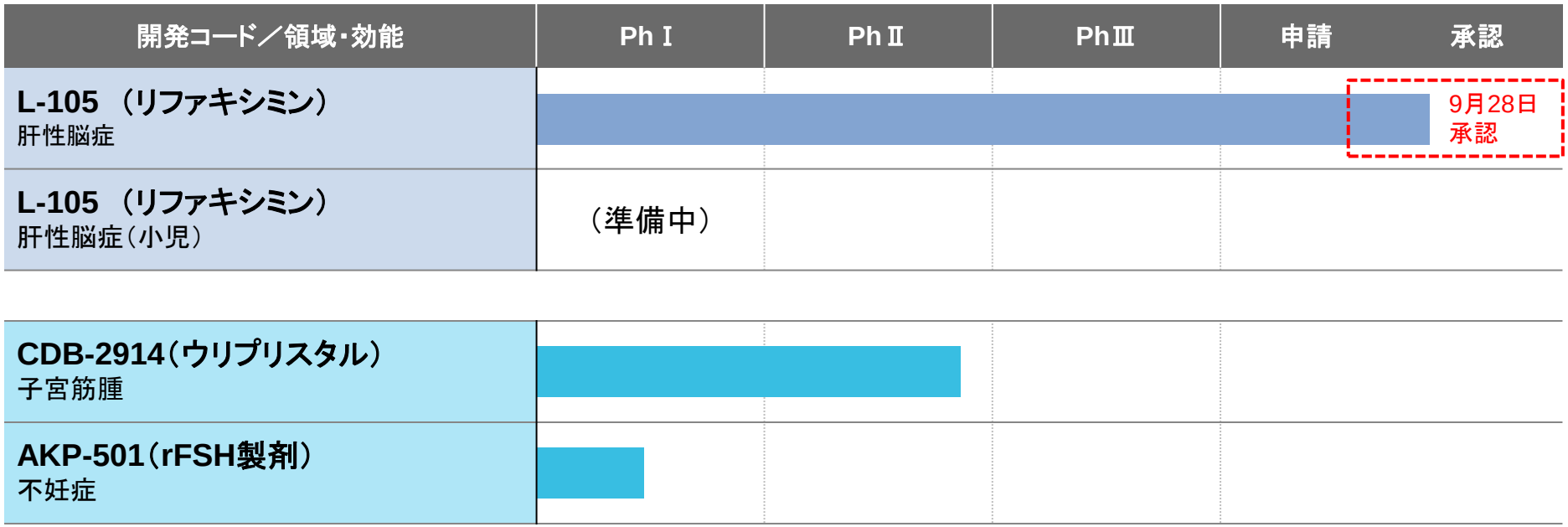
売上実績／見込み

単位：百万円



開発パイプライン

研究開発の状況（2016年11月時点）



■ 開発パイプラインは非臨床段階の品目がステージアップ次第、公開していく



※ ノーベルファーマ開発および製造販売

あすか製薬グループ

あすか製薬





医療用医薬品事業

あすか製薬メディカル





検査事業/ヘルスケア事業

あすかアニマルヘルス





動物用飼料・医薬品事業

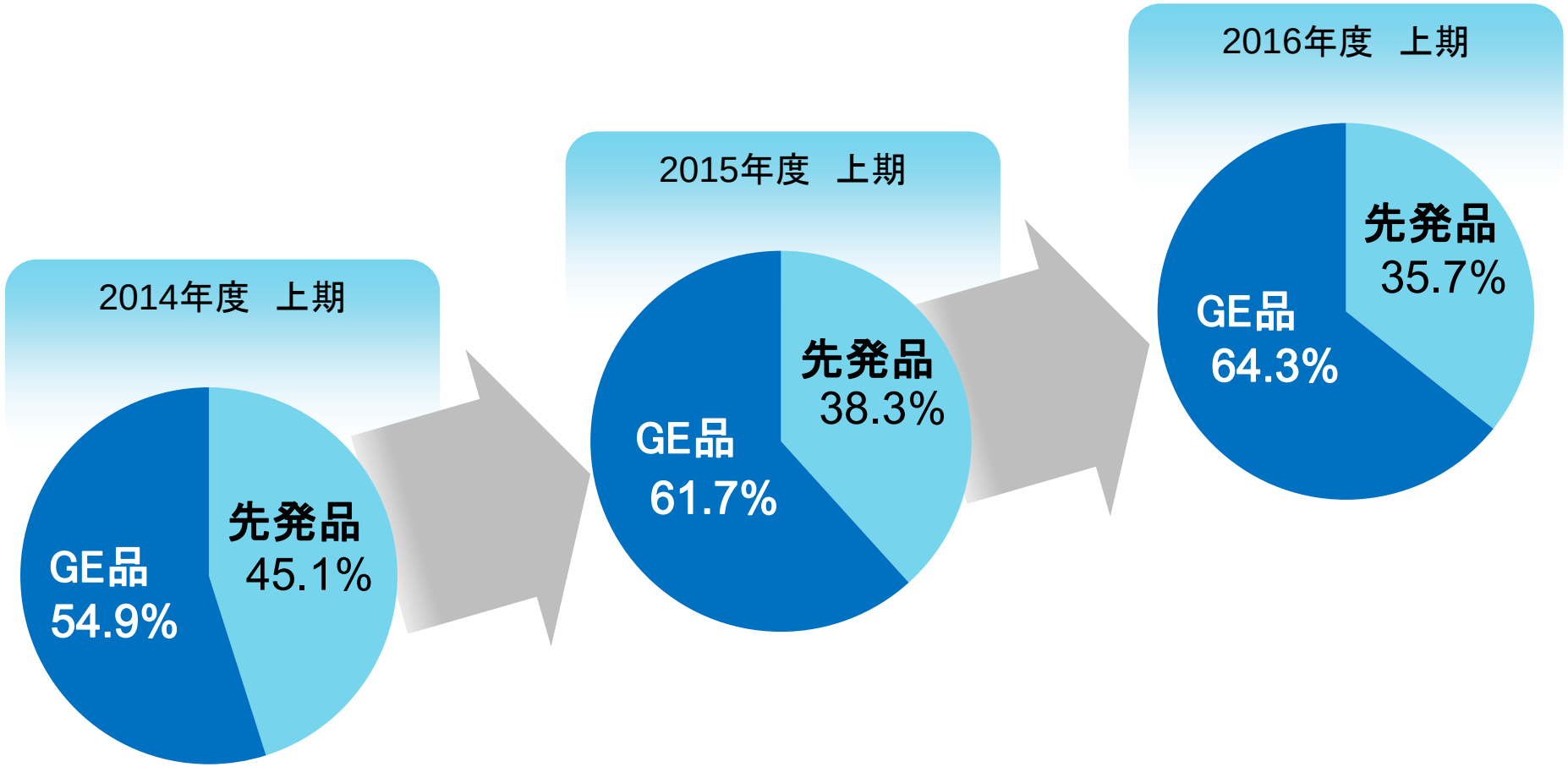
先端の創薬を通じて、

人々の健康と明日の医療に貢献する

あすか製薬株式会社

ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

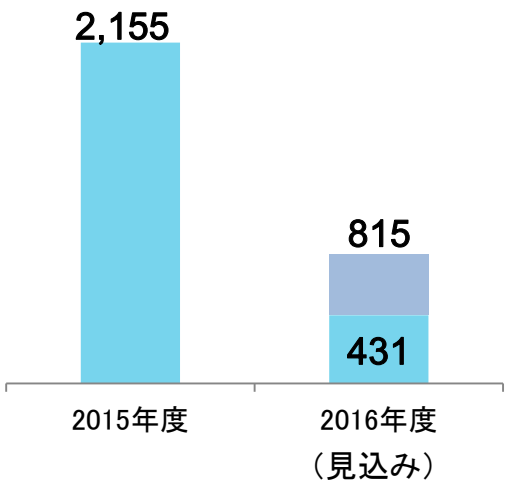
ご参考：医療用医薬品の売上構成比



ご参考：設備投資・減価償却費・研究開発費

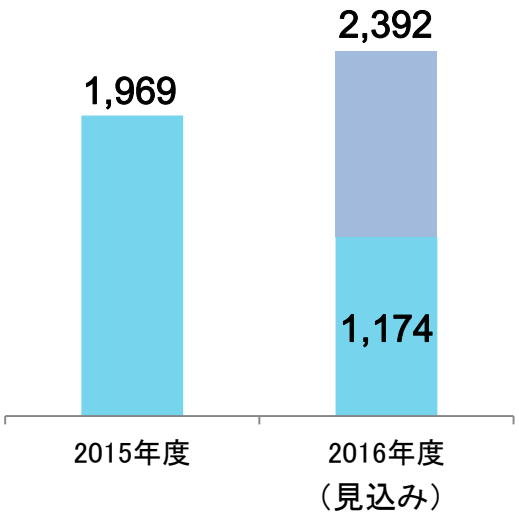
設備投資

（百万円）



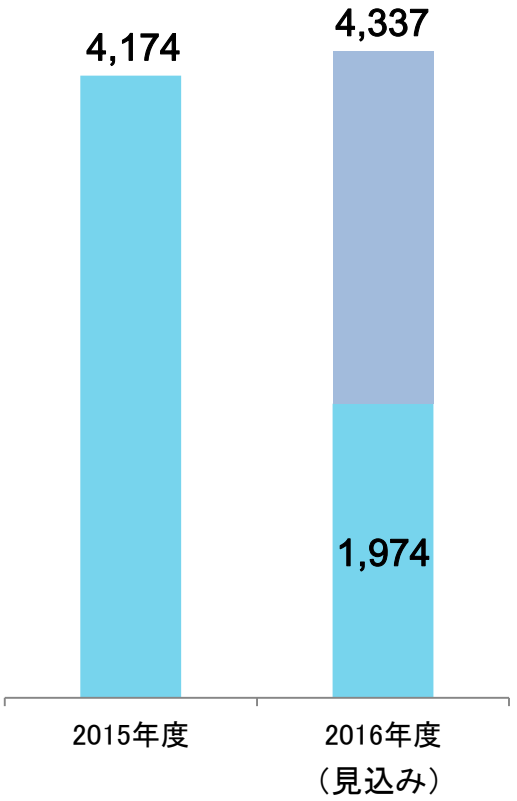
減価償却費

（百万円）



研究開発費

（百万円）



- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

経営企画部

Tel　：03－5484－8366

e-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

